

Scoop

2004年 3月

F1参戦記念車

トヨタ

F1参戦記念車 007次回作でボンドカーとして06年映画デビュー



[zoom](#)

ボンドカーに起用されるF1参戦記念車は、あの2000GTを彷彿させるホワイトで登場してほしいね。

ジュネーヴショーのジウジアーロ・ブースに突如現れたトヨタ・マーク付のスポーツカーには、日本中の業界関係者が衝撃を受けたに違いない。「これが以前からウワサの絶えなかったF1記念参戦車なのか!？」といった声も聞かれるが、出展されたアレッサンドロ・ヴォルタはあくまでもスタディモデルで、市販車につながるものではない、とスクープ班は見る。ただ、少なくともトヨタのデザイン開発（F1参戦記念車の可能性大）にジウジアーロが何らかのカタチで関わっていることは間違いないようだ。

日本中がヴォルタの出現に盛り上がっている中、本誌ではまだ誰も知らない、さらなる衝撃的なニュースをつかんだ。それは、F1参戦記念車が発売と前後して映画デビューを果たすことだ。しかも、その作品は毎回ユニークな仕掛けを持つクルマ（俗にいうボンドカーと呼ばれている）が登場する007シリーズだという。

早速、情報筋から得たこのニュースの真相を確認しようと、配給元の20世紀フォックス映画に問い合わせたが、「次の007第21作目は06年の公開予定で、まだタイトルも決まってません」（同社宣伝部）とのこと。ボンドカーについても「さすがにわかりませんねえ」と。つまり、今回スクープした計画はそのくらいトップシークレットで動かされていることを意味する。

かつて日本車でボンドカーに使われたクルマといえば、あのトヨタ2000GTが有名で、67年に公開された「007は二度死ぬ」の劇中で若林映子が乗っていた（ジェームス・ボンドはショーン・コネリーが演じていた）。特注のオープン仕様は2台が製作され、1台は撮影用に、もう1台は

イベント展示用に使われたという。

また、2000GT以外にも、かつて映画に登場した発売前のトヨタ車はいくつか挙げられる。記憶に新しいところでは、96年公開の「7月7日、晴れ」でイプサムがスクリーン先行デビュー。自動車メーカーに勤めるサラリーマン（萩原聖人）とトップミュージシャン（観月ありさ）の恋を描いたストーリーに、イプサムは新車発表されるニューモデルとして用いられた。

また、スピルバーグ監督の「マイノリティ・リポート」（02年公開）に登場する赤いレクサスは、2054年の電気スポーツカーを想定して製作された。今回スッパ抜いたF1参戦記念車のボンドカーへの起用は、これらに続く未発売トヨタ車の映画デビューとなる。

開発コード680NのF1参戦記念車は長期にわたってデザイン検討が進められ、日本国内の本社デザイン部だけでなく、ヨーロッパのEDスクエアからも案が出されたという。複数のデザイン案から選ばれたフォルムをまとい、すでに爆音を放ってテストカーが走り回っているとの情報もあり、引き続き追加情報を求めてスクープ班では調査を続けていきたい。



[zoom](#)



[zoom](#)

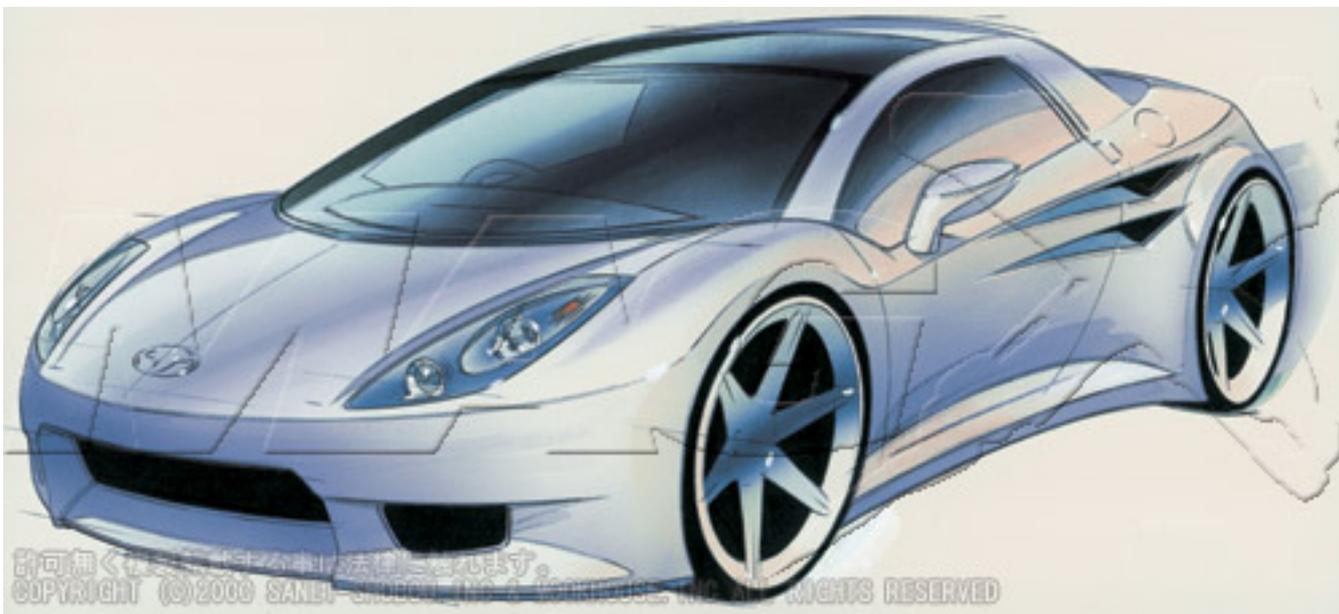


[zoom](#)

67年に公開された「007は二度死ぬ」で登場したトヨタ2000GTのオープン仕様。

イプサムは発売に先がけ、映画「7月7日、晴れ」でスクリーンデビューを果たした。

「マイノリティ・リポート」でトム・クルーズが乗っていたレクサス・スポーツ。







許可無く複製転載する事は法律に触れます。
COPYRIGHT (C)2000 SANBI-SHOBOU, INC & WOOKHOUSE, INC ALL RIGHTS RESERVED

